

第2回研究会を4月20日（金）に行いました。

かたの生涯のストーリーを10に区切り、第一回は初めの1〜3をして、今回は4〜5の看護婦をめざす、帝国大学病院で働く部分を深めました。

① かたが上京した時の堀正 池田侯爵輝知（旧藩主）は鳥取県出身の学生寮を経営していたが、明治23年早世した。堀は明治20年5月長崎県島原警察署長を退職し、帰農を目指していたが、明治27年1月、堀56歳の時、久松閣（後に久松学舎）舎監を引き受けていた。

② 東京帝国大学看護婦養成 桜井女学校の第一期生の実習を引き受けたことから始まり、かたの入学は第6期生で、明治28年であった。何月からは詳しい資料を探さなければいけない。かたの「おもいで」他、近代看護を聞き取りで残した看護史研究者高橋政子さん（鳥取市出身）の功績・話題に及んだ。

③ 札幌の森廣 先の「おもいで」にも出てくるが、『ポプラ物語』には看護婦時代のかたが出てくる。森少年はかたに励まされ、左足の自由を失った代りに、生きる勇気と深い信仰を得た。後に北海道のポプラの父と言われた。

④ 足尾銅山古河市兵衛妻タメ 訪問看護でかたはタメにマッサージを施した。鉦



4月20日（金）研究会

毒被害の実態を知った夫人は神田川に投身自殺する。そのニュースを載せた「万朝報」の記事一部を読む。

⑤ 弓町本郷教会同志看護婦会 かたは明治34年11月に発足した同志看護婦会の中心的な看護婦であったが、翌明治35年春、企救男との結婚のため、他の人に委ねて小樽へ行く。かたの看護婦活動は5年間であった。

今回はかたの禁酒運動・参政権運動をテーマにします。

かたの**養父堀正の曾孫**さんがちょうど鳥取に来られて、研究会に出席されます。何か話していただきましょう！

明治期の戸籍では住所表示が現在の記載方法は違っている。なぜか。

岡山県立図書館提供のレファレンス事例をネットで見たので、今回はこの記事を載せ、皆様といっしょに学びましょう。

明治5年2月1日から明治19年10月15日まで「壬申戸籍」とも呼ばれ、「本籍は、住所地において屋敷にふられた番号（番屋敷）が登録されていて、住所登録の性格も持っており、現在の住民基本台帳の役割もはたしていた。」ようだ。（清水潔著『戸籍を読み解いて家系図をつくろう』日本法令出版）

明治19年式戸籍については、「地租を目的とした土地台帳の整備により、居住地に付番された番号による地番を付すこととされた。」とある。（大里知彦著『旧法親族相続戸籍の基礎知識』テイハン出版）

番屋敷から直接的に番地を知ることとはできません。また、古い地名は現在の住所と違っていることがほとんどで、現在、これらをすり合わせようとしても、困難な場合があります。すり合わせるには地名字典で調べたり、法務局や役所の教育委員会や固定資産税課に問い合わせる必要がある。（岩本卓也著『なぜいま家系図を作るべきなのか？』柘出版社）

「碧川かた」との出会い再び

昭和52年頃、鳥取市の私の自宅に、看護学生時代の友人が遊びに来た。その時の彼女の土産が高橋政子らの「土曜会」編著『日本近代看護の歴史』であった。碧川かた・高橋政子が鳥取出身であることも知り、看護歴史について大いに語り合った。

興味が広がり、鳥取の看護歴史を調べ始め、友人の、当時鳥取赤十字看護学校教員の諸家香代子さん、同じく鳥取県立中央病院内科森英俊医師に参加を得て「土曜会」を創った。時が経ち各自仕事や環境の変化で、会の続行が困難となり、「退職後の楽しみにしましょう」を合言葉に二、三年で休止したが、未だ再開できていない。

その頃山陰中央新報の「歴史を彩った山陰のおんな」(昭和60年2月27日)のコナーの執筆を依頼され、「碧川かた」のことを書いた。知られていなくて反響が予想外に多かつた記憶がある。その後角秋勝治氏の精力的著書『鐘は既に鳴れり』の発刊、「碧川かた顕彰碑」建立で、多くを学ぶことができ、また鳥取県の文化的遺産が目に見える形になってきたことは素晴らしいと思う。

この度「碧川かた研究会」へ参加の機会を得た。知見の高いメンバーの方々、専門的研究の方法、その深さと広さに刺激をいただきました。歴史を学ぶ楽しみ(と苦し

み)を共有できることを感謝しています。

元看護師 佐々木美幸



とりぎん文化会館ロビーでの  
佐々木さん(左)と四井 今年2月17日

佐々木美幸さんとは、四井が碧川かた顕彰碑実行委員を始めた頃に知り合いました。今は戦時中の鳥取市のある保健師を研究しておられます。(四井)

なぜ研究会をするの？

朝ドラに向けては、県民の盛り上がりはもちろん、史実を踏まえた130話程度の物語が必要で、県内の郷土史家や「赤とんぼの母」研究者、ファンなどの方々が意見発表する必要があるからです。

「今後の関連イベント」

6月21日(木) 10時〜11時(後半)

14時〜15時(後半)

「ふるさと人物評伝 赤とんぼの母」30分

於 鳥取市文化センター2階会議室

鳥取・放送文化(映像) ライブラリー

因幡万葉歴史館での展示

「赤とんぼの母 碧川かたの生涯」手づくり資料展  
会期 6月30日(土)〜7月22日(日)

設営…6月28日(木) 午後1時から5時

(29日四井最終点検)

ふるさと伝言版出演…29日14時NHK鳥取

集合、夕方放映です。

オープニング…30日10時半 岡野貞一記念

合唱団出演あり、その後展示物説明

あり、多ぜいご参集ください。

7月6日(金) 14時〜河野さん鳥取着、歓迎

7日(土) 10時〜12時

トーク河野浩美さん

著作『命一コマ』で第4回読売

「女性ヒューマン・ドキュメンタリー」

大賞入選

撤去の協力…7月22日(日) 午後4時半から

★第3回目は5月19日(土)

午後1時半〜3時半

場所は前回と同じく県図書2階小研修室

初めての方でもどうぞおいで下さい。

★4回目は今秋の予定です。